

# 2013年9月期決算説明会

---

2013年11月19日



高千穂交易株式会社  
TAKACHIHO KOHEKI CO.,LTD.

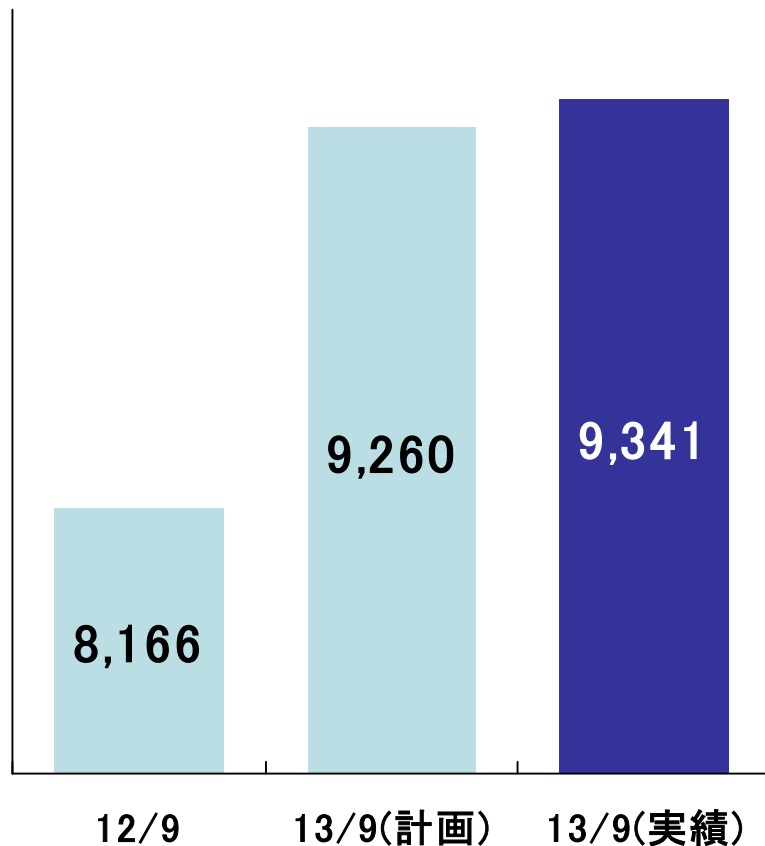
# 2013年9月期の決算概要

※当資料の金額の記載は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

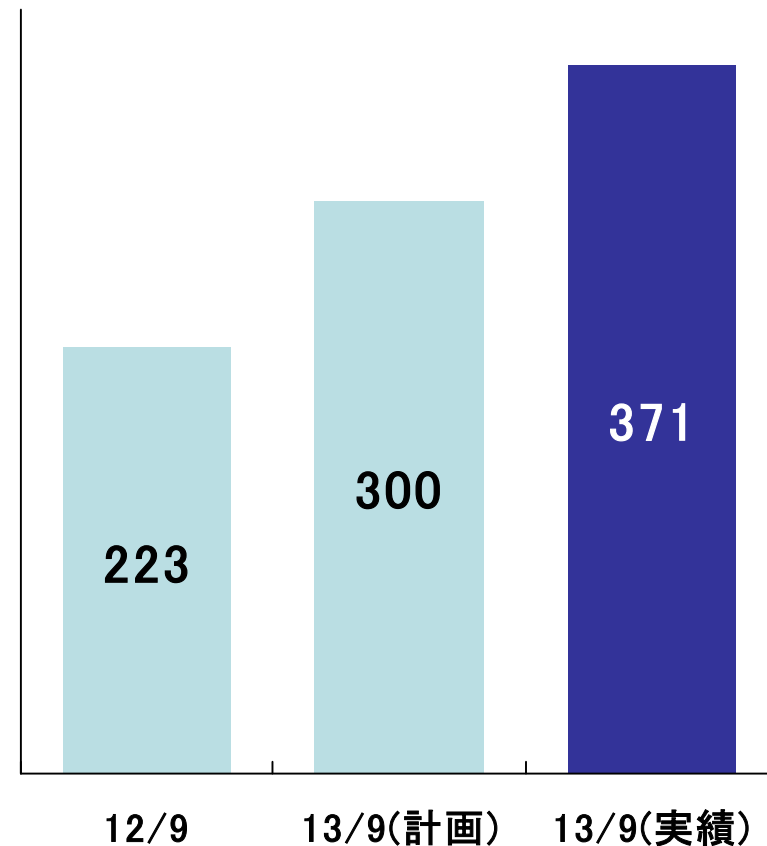
## 2013年9月期 連結業績ハイライト

増収増益、売上・経常利益とも計画達成

売上高 (百万円)



経常利益 (百万円)



## 2013年9月期 連結業績の詳細

### 単体業績が牽引し増収増益

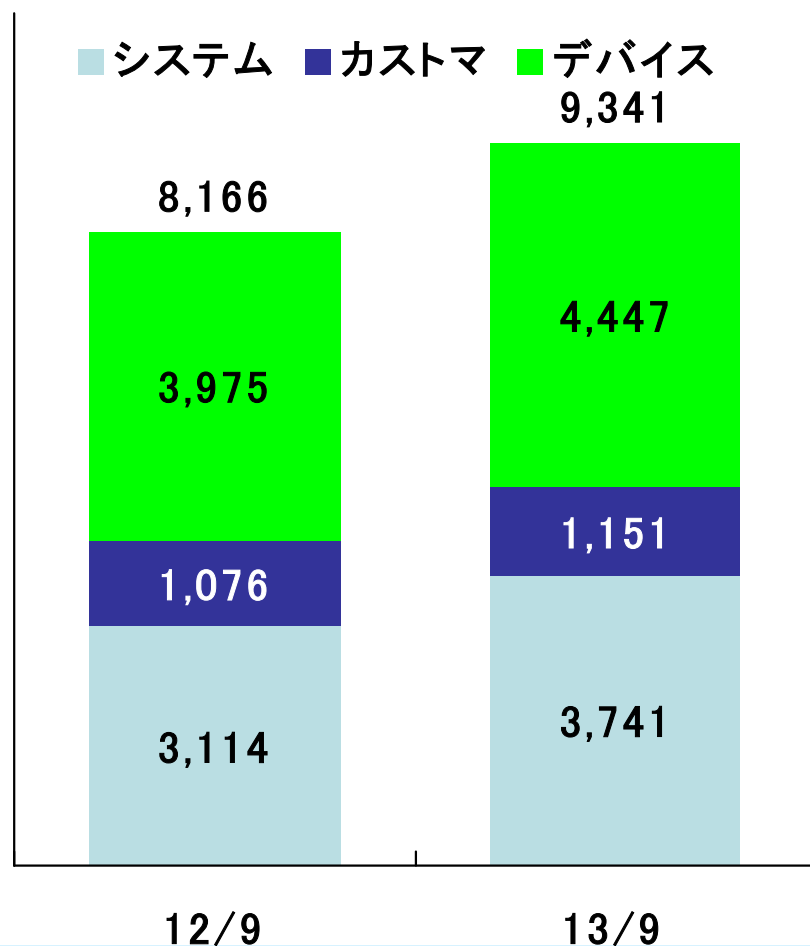
(百万円)	12/9	13/9		計画差	前期差	前期比 (%)
	実績	計画	実績			
売上高	8,166	9,260	9,341	81	1,174	14.4
粗利益	2,358	2,610	2,518	△91	159	6.8
粗利益率(%)	28.9	28.2	27.0	△1.2	△1.9	-
販売費及び一般管理費	2,163	2,320	2,168	△151	5	0.2
販管費率(%)	26.5	25.1	23.2	△1.8	△3.3	-
営業利益	194	290	349	59	154	79.2
営業利益率(%)	2.4	3.1	3.7	0.6	1.4	-
経常利益	223	300	371	71	147	65.9
経常利益率(%)	2.7	3.2	4.0	0.7	1.2	-
当期純利益	42	140	165	25	123	289.5
当期純利益率(%)	0.5	1.5	1.8	0.3	1.3	-
人 員	467	-	471	-	4	-

※ 13/9の販管費にのれん償却126百万円計上(12/9は102百万円)

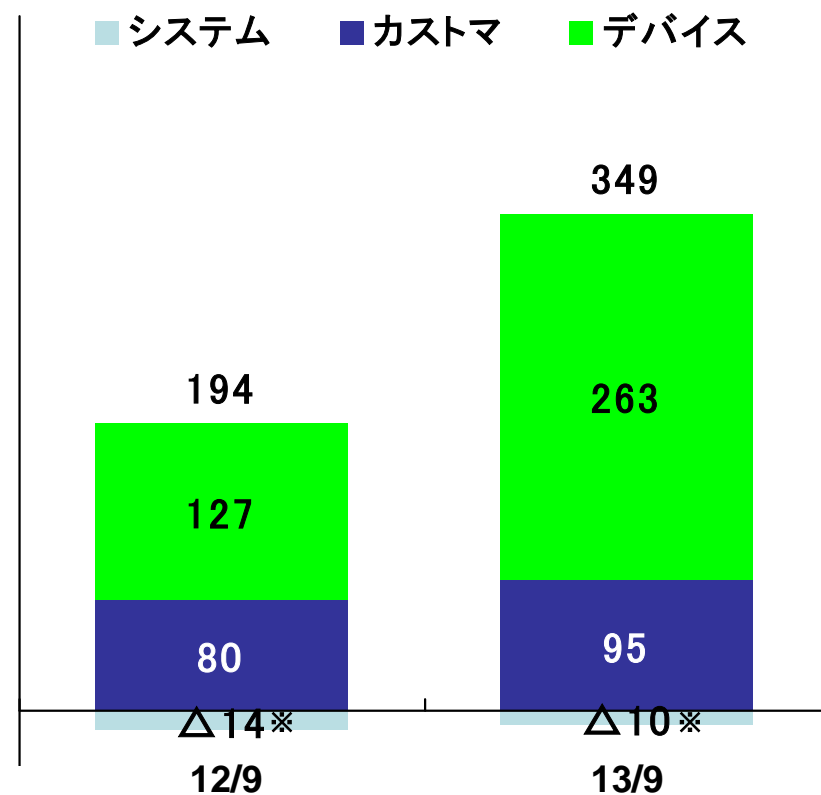
# セグメント別業績のハイライト

## 全セグメントで増収増益

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)

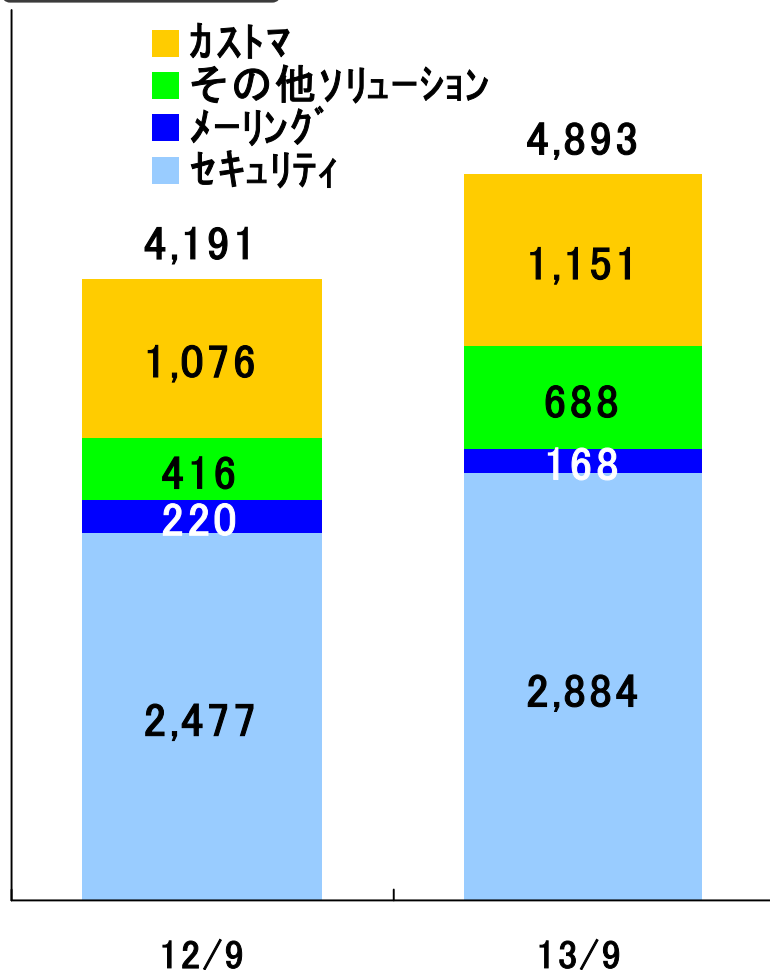


※システムには投資コスト(のれん償却)含む  
 13/9 126百万円  
 12/9 102百万円

# システム+カスタマ・サービスセグメントの業績

## セキュリティプロダクト等が好調に推移し増収増益

売上高（百万円）



定性情報

- ◆ セキュリティプロダクトは、GMSやドラッグストア向けの商品監視システムやIPカメラが販売増加、またタイ現地法人での販売増加も貢献
- ◆ その他ソリューションプロダクトでは、物流企業向けRFIDタグの販売増加により増収

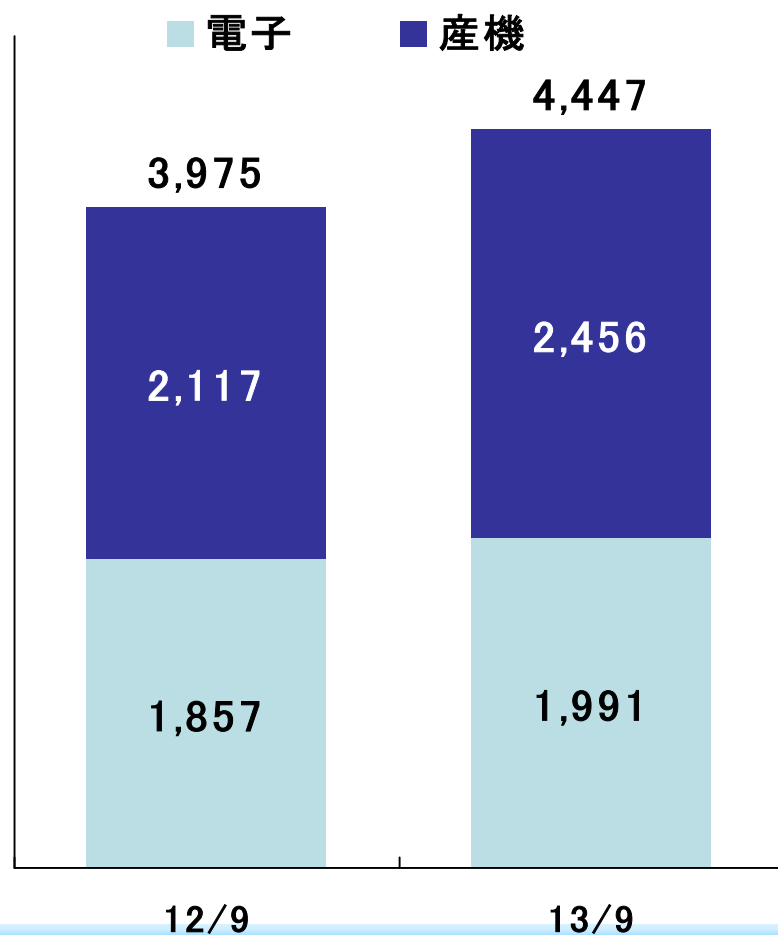
営業利益（百万円）

	12/9	13/9	前期比
システム	△14	△10	—
カスタマ	80	95	18.7%
<b>合計</b>	<b>66</b>	<b>85</b>	<b>27.9%</b>

## デバイスセグメントの業績

### 電子・産機両プロダクトとも増収増益

売上高（百万円）



定性情報

- ◆ 電子プロダクトでは、デジタル家電向けシリコンマイクの販売の堅調により増収
- ◆ 産機プロダクトでは、遊技市場向け販売の大幅続伸、及びATM向け販売の堅調推移により増収。

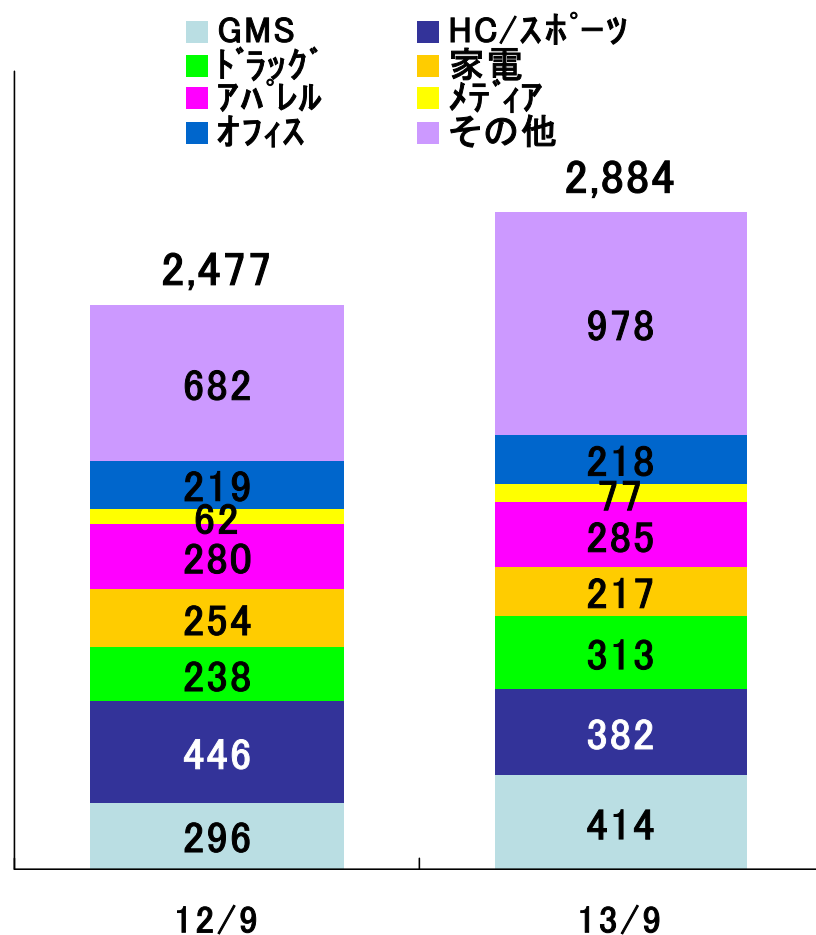
営業利益（百万円）

	12/9	13/9	前期比
デバイス	127	263	107.1%

# セキュリティプロダクトの業績

## GMS、ドラッグ、その他(タイ)が好調

売上高(百万円)



定性情報

- ◆ GMS(総合スーパーマーケット)やドラッグストアではEAS(商品監視システム)やIPカメラが好調
- ◆ タイ現地法人では日系企業向け防火設備や入退室管理システムが好調
- ◆ アパレルショップではEASと入店カウンターやカメラとの複合販売が進む



商品監視システム



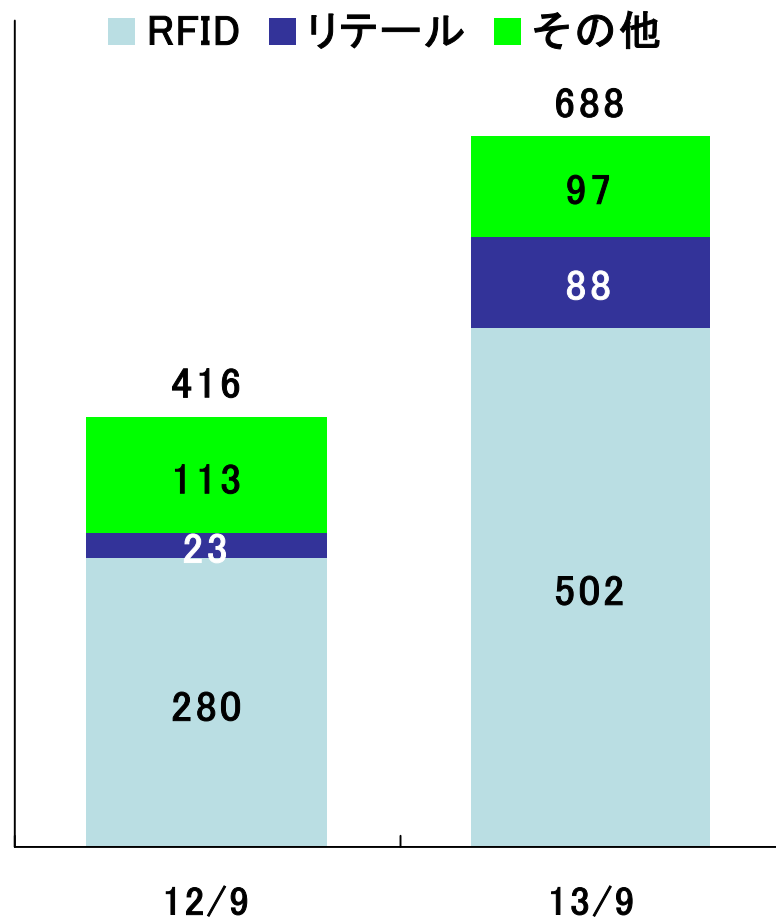
IPカメラ



# その他ソリューションプロダクトの業績

## RFIDが大きく伸長し増収

売上高（百万円）



定性情報

- ◆ RFIDはマイティカード(株)の物流企業向けタグの販売が好調で大幅増加
- ◆ アパレル小売店向けRFID在庫管理システムの販売が進展
- ◆ リテールは犯罪防止を目的とした顔認証システムの販売が本格化

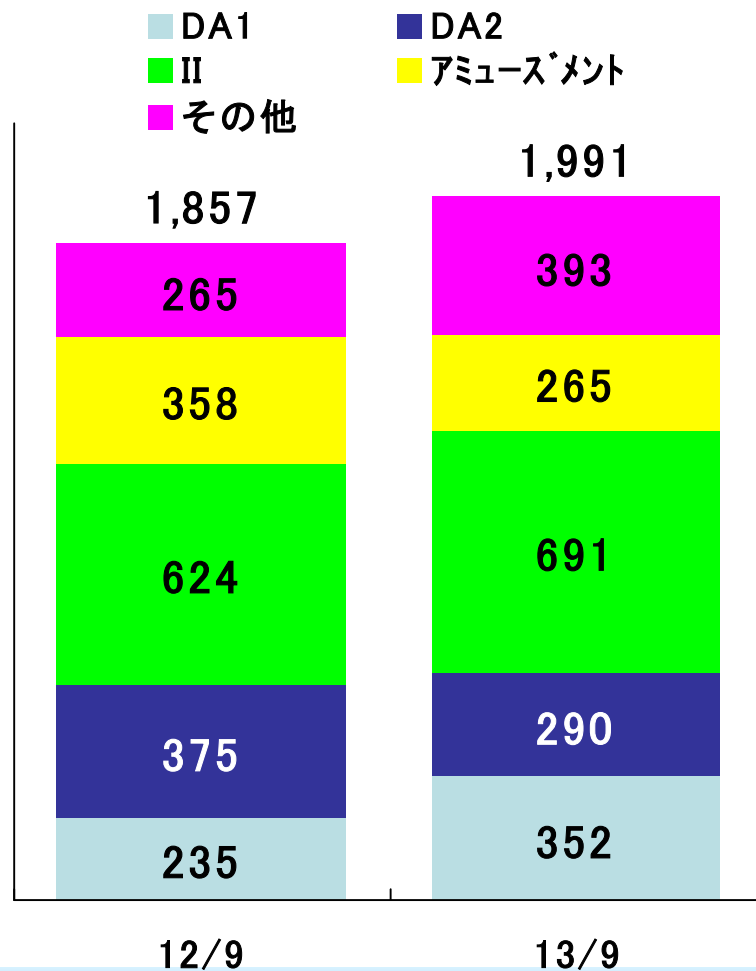


RFIDを利用した棚卸例

# 電子プロダクトの業績

## 産業機器市場(II)等が増収

売上高(百万円)

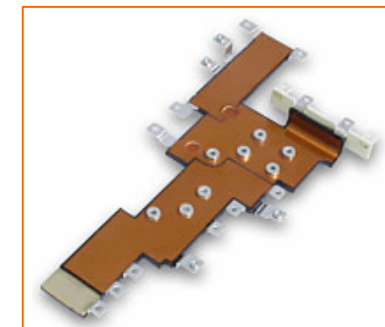


定性情報

- ◆ 民生機器市場(DA1)ではデジタル家電向けシリコンマイクの販売が増加
- ◆ 重点市場として取組んでいる産業機器市場(II)では新たなアナログ商品のアナログデバイセズの案件数が増加
- ◆ その他ではバスバーがターゲットとしている社会インフラ市場の太陽光発電や鉄道機器向けに採用され前年同期比3倍



シリコンマイク

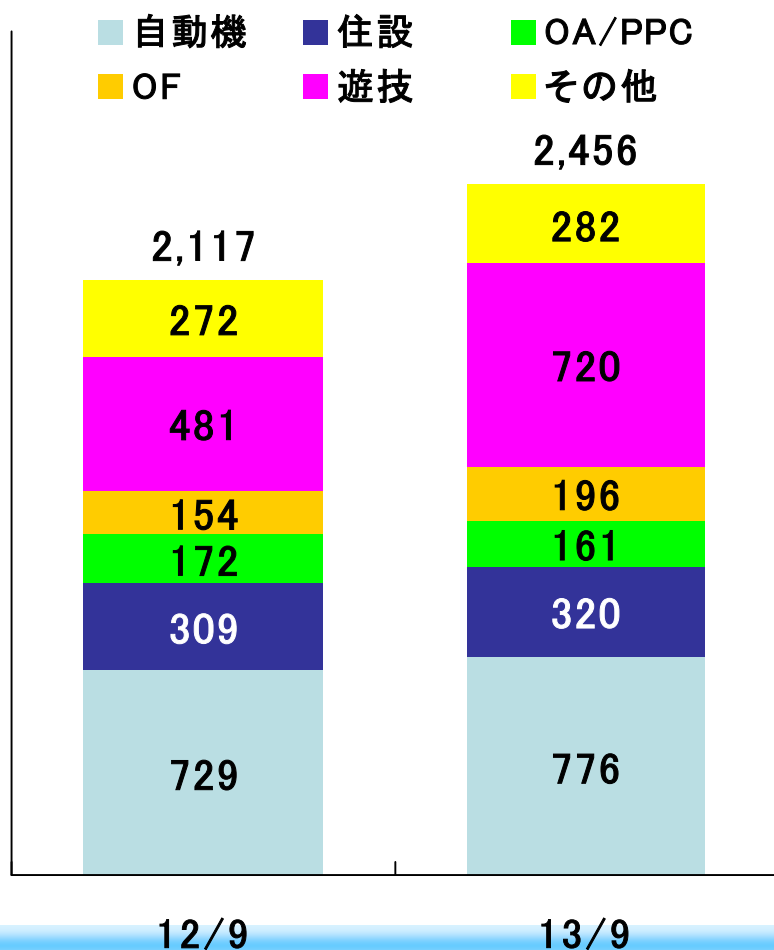


バスバー

# 産機プロダクトの業績

## 遊技市場向けが大きく伸長

売上高（百万円）



定性情報

- ◆ 遊技市場で採用機種や製品種類の増加により大幅増収
- ◆ 自動機市場はATM(現金自動預け払い機)で新商品の電子錠が採用され堅調に推移
- ◆ OF市場でターゲット顧客の取り込みに成功しデスクワゴン向け販売が増加



スライドレール

## 貸借対照表の状況

保有有価証券の時価増加に伴い投資その他資産が増加

(百万円)

	13/3	13/9	構成比(%)	増減
流動資産	15,558	16,081	84.5	522
現金預金	7,207	7,915	41.6	708
受取手形及び売掛金	5,385	4,985	26.2	△400
商品及び製品	2,013	2,234	11.7	221
固定資産	3,040	2,941	15.5	△99
有形固定資産	496	482	2.6	△14
無形固定資産	1,177	1,028	5.4	△149
投資その他資産	1,366	1,429	7.5	63
資産合計	18,599	19,022	100.0	423
流動負債	3,891	4,224	22.2	333
支払手形及び買掛金	2,572	2,754	14.5	182
固定負債	840	818	4.3	△21
純資産	13,867	13,979	73.5	112
負債純資産合計	18,599	19,022	100.0	423

## 連結キャッシュ・フロー計算書の状況

四半期税引前利益の増加等に伴い営業活動CFが増加

(百万円)

	12/9	13/9	前期差
営業活動によるキャッシュフロー	143	866	723
投資活動によるキャッシュフロー	256	△98	△354
財務活動によるキャッシュフロー	△168	△122	46
現金及び現金同等物の増減額	226	658	431
現金及び現金同等物の期首残高	5,792	6,507	714
現金及び現金同等物の期末残高	6,019	7,165	1,145

## 株主還元策について

### 安定的な配当を継続的に実施

	1株あたり 年間配当金	内中間配当	配当性向:連結
2008年3月期	28円00銭	14円00銭	116.8%
2009年3月期	28円00銭	14円00銭	160.5%
2010年3月期	24円00銭	12円00銭	163.0%
2011年3月期	24円00銭	12円00銭	57.9%
2012年3月期	29円00銭	12円00銭	84.1%
2013年3月期	24円00銭	12円00銭	42.2%
2014年3月期(予想)	24円00銭	12円00銭	(見込み) 42.3%

※2012年3月期の年間配当金には創立60周年記念配当5円を含みます。

# 通期の見通し

※当資料の金額の記載は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 2014年3月期 通期業績計画

グループ全体で自立的な成長を推進

(百万円)

	13/3 実績	14/3 計画	前期差	前期比(%)
売上高	18,149	19,700	1,550	8.5
粗利益	5,205	5,600	394	7.6
粗利益率(%)	28.7	28.4	△0.3	—
販売費及び一般管理費	4,379	4,580	200	4.6
販管费率(%)	24.1	23.2	△0.9	—
営業利益	826	1,020	193	23.4
営業利益率(%)	4.6	5.2	0.6	—
経常利益	1,007	1,050	42	4.3
経常利益率(%)	5.5	5.3	△0.2	—
当期純利益	557	560	2	0.5
当期純利益率(%)	3.1	2.8	△0.2	—



# 中期事業方針

## 基本方針

独自の付加価値創出とグローバルビジネスの拡大

① 既存事業の収益拡大

② 新規ビジネスの創出

③ グローバルビジネスの拡大

# 今後の成長戦略

国内既存事業の収益基盤を固め、海外+新規で成長を実現

## 新規ビジネス の創出

- システム:RFID、リテールソリューションの市場形成・拡大
- デバイス:社会インフラ市場(太陽光発電等)の開拓

## グローバルビジネス の拡大

- TKタイを拠点とする東南アジア市場開拓の推進
- 中国市場の移管ビジネス継続と現地ビジネスの拡大
- 新規海外市場への参入

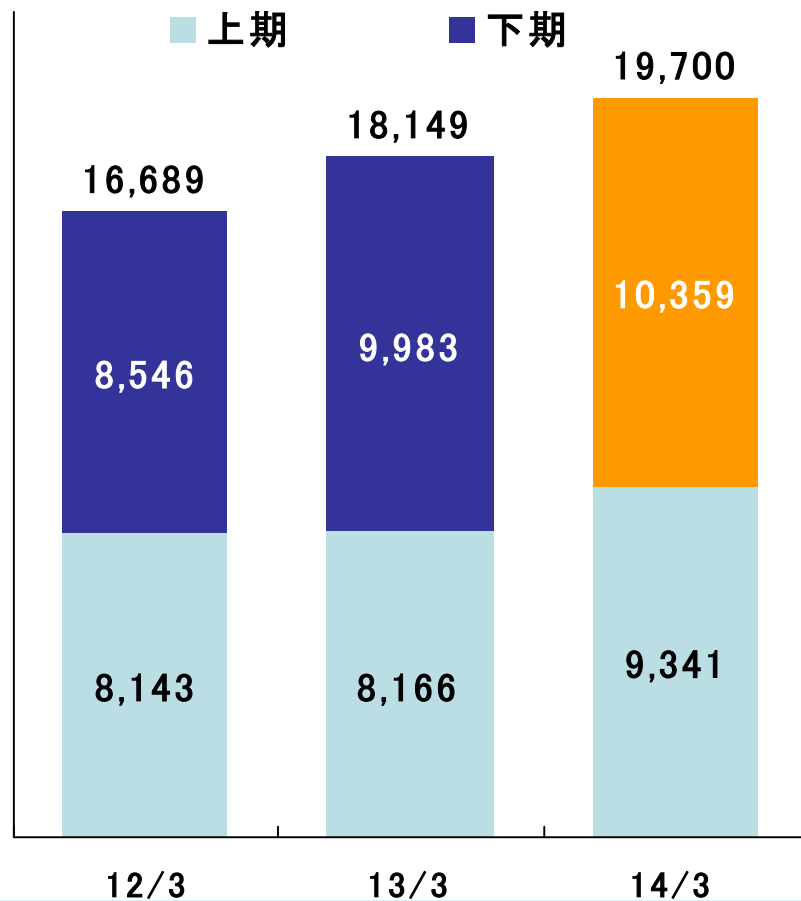
## 既存事業の 収益拡大

- 戦略市場への集中化によるシェア拡大
- 独自商品(製品・サービス)の開発による市場開拓
- 付加価値創出による競争力強化
- 顧客満足向上による重点顧客の維持拡大

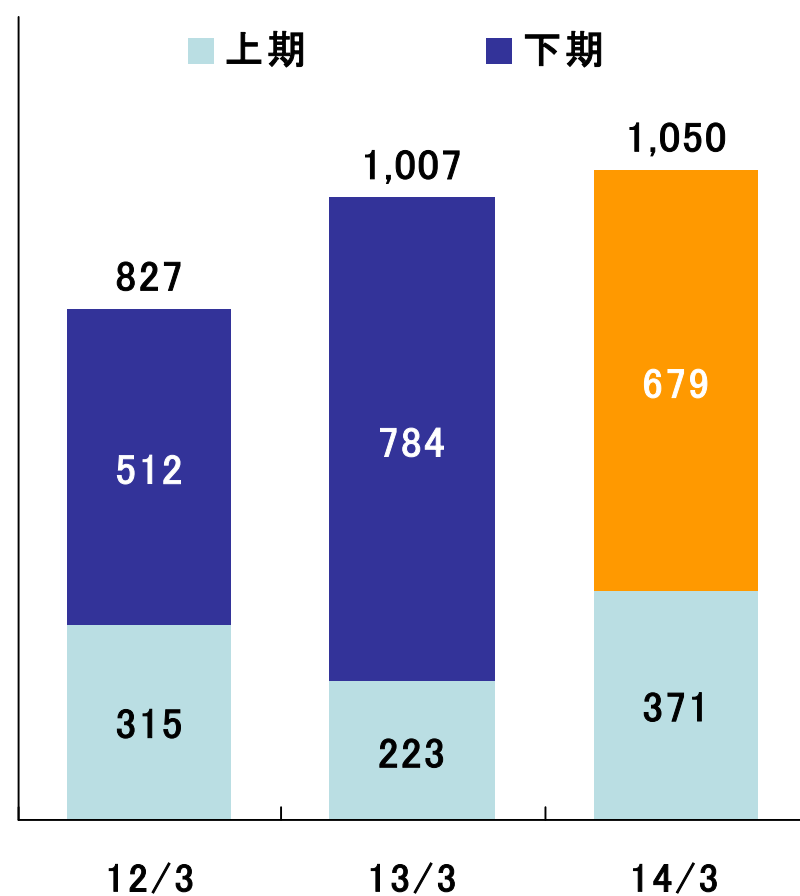
## 下期の業績計画

下期は売上・利益共に今上期を上回る計画

売上高 (百万円)



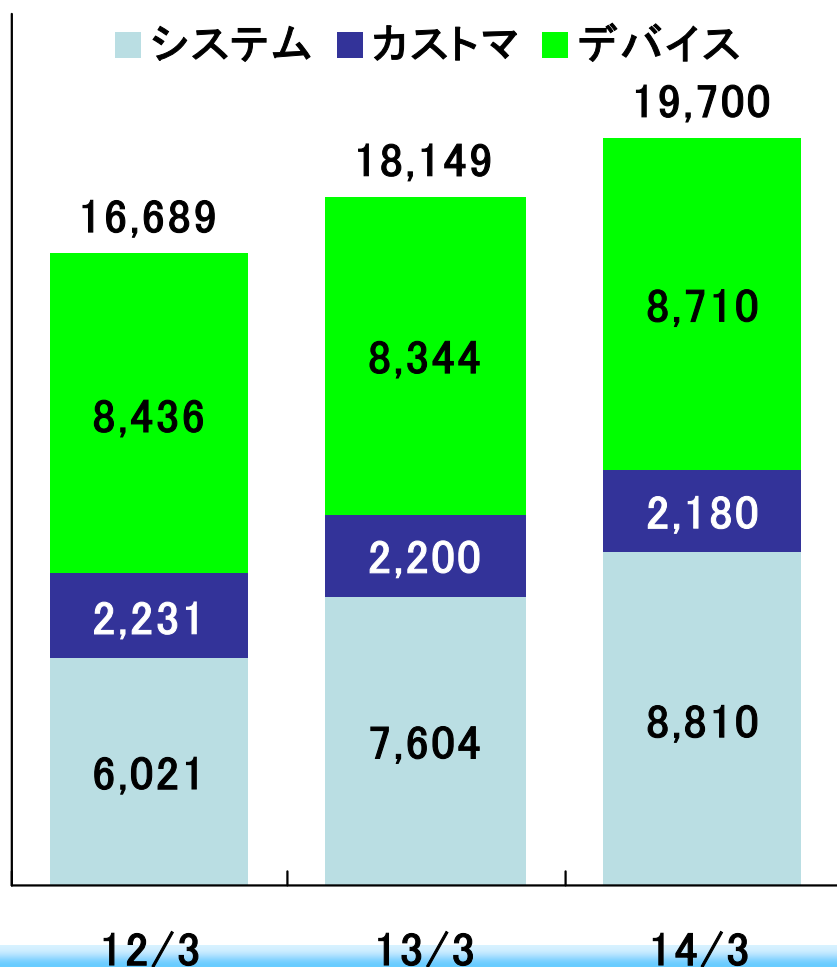
経常利益 (百万円)



# 2014年3月期 セグメント別販売計画

## システム・デバイス両セグメントで増収増益計画

売上高（百万円）



定性情報

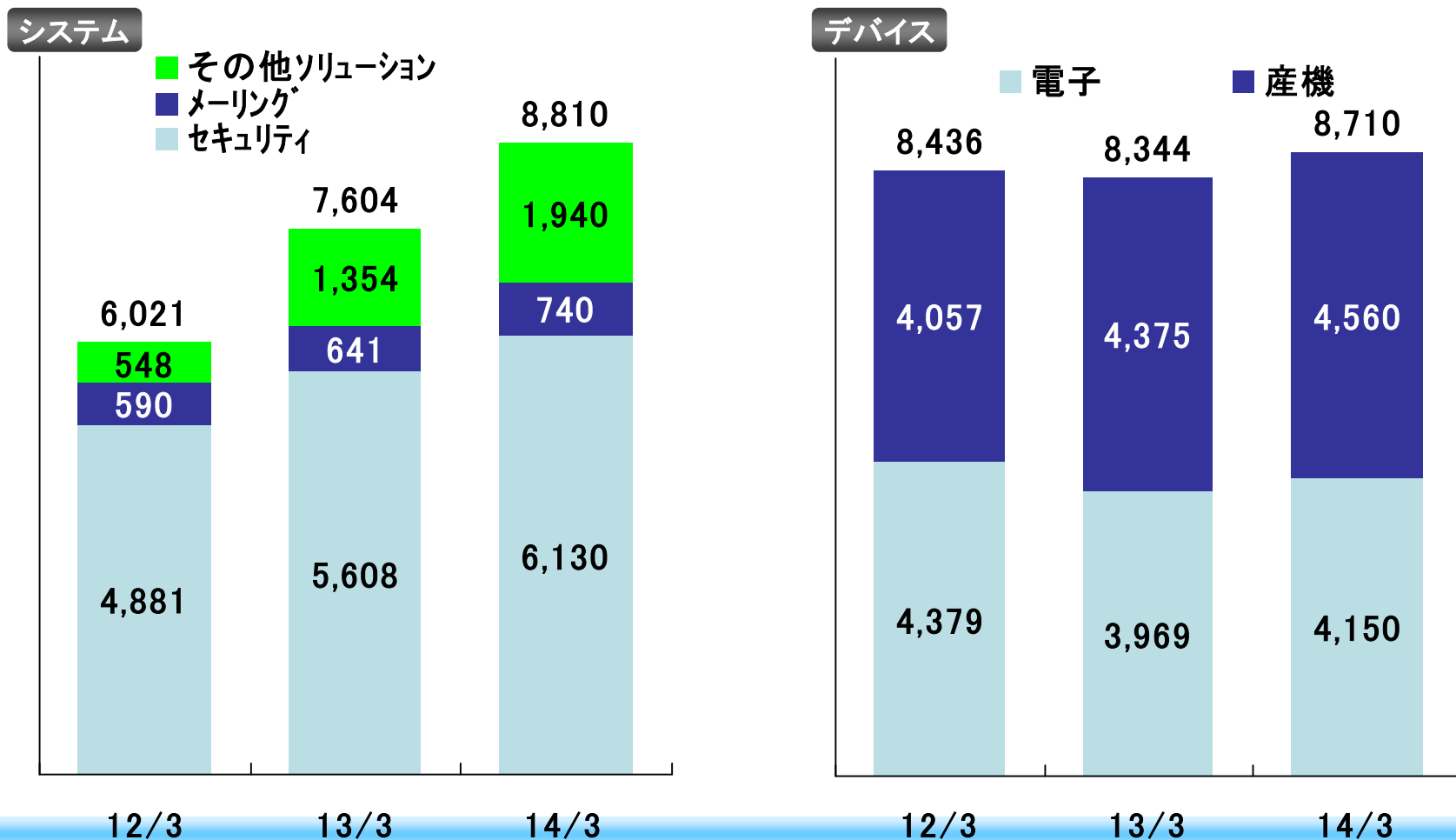
- ◆ システム: セキュリティは付加価値強化による国内市場の拡大と海外事業の強化、新規ビジネスはRFID等の市場形成・拡大を図る
- ◆ デバイス: 電子は産業機器市場での拡販による成長トレンドへの転換、産機は国内新規市場の開拓等により拡大を図る

(百万円)

	13/3	14/3	前期比
売上高	18,149	19,700	1,550
営業利益	826	1,020	193
経常利益	1,007	1,050	42
当期純利益	557	560	2

# セグメント別販売計画の詳細

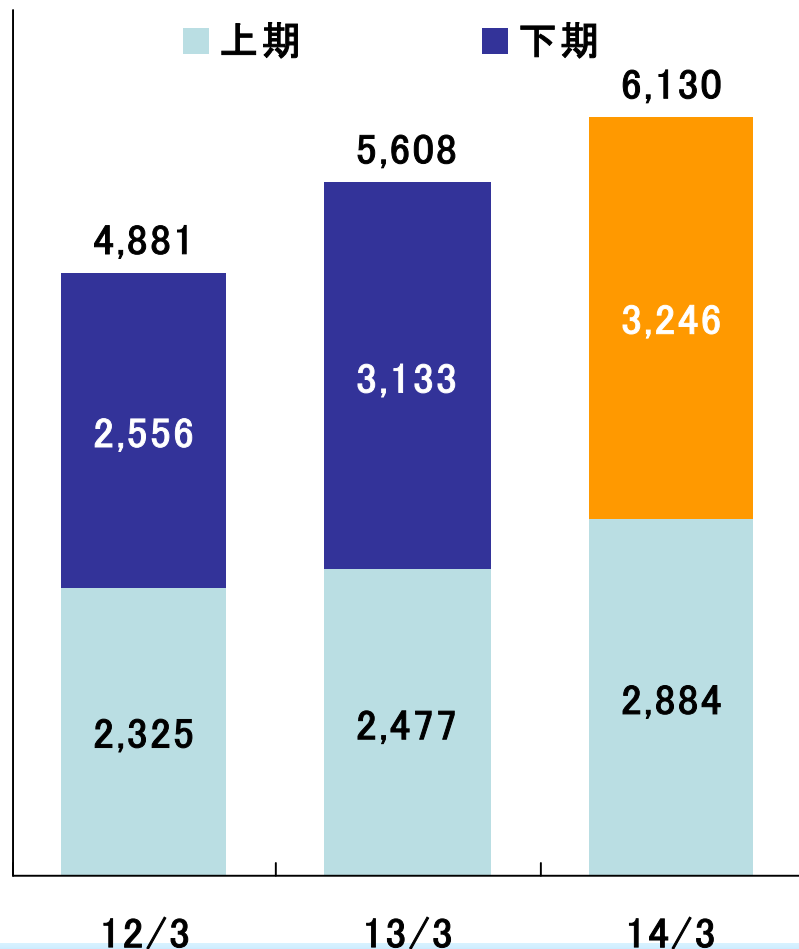
## 両セグメントの全プロダクトで増収計画



# セキュリティプロダクトの販売計画

## 複合提案強化とグローバル化推進

売上高 (百万円)



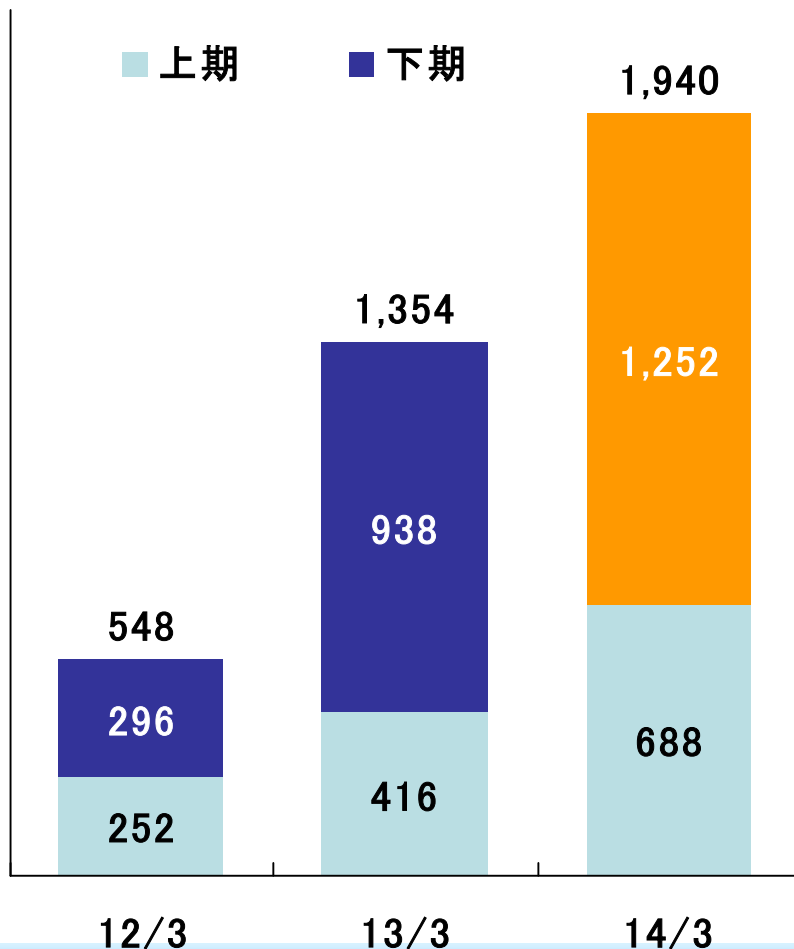
主な施策

- ◆ EAS (商品監視システム) 未導入市場の開拓強化
- ◆ 複合提案 (EAS + IPカメラ等) 強化によるGMSの攻略継続
- ◆ 既導入顧客の運用支援強化を通じたタグの販売拡大
- ◆ アパレルは入店カウンターとEASの複合販売により拡大
- ◆ オフィスセキュリティ等での複合提案強化により、未導入企業へ拡販
- ◆ グループ内の連携強化によりタイ日系企業の開拓加速

# その他ソリューションプロダクトの販売計画

## RFIDとリテールソリューションで更なる躍進を狙う

売上高（百万円）



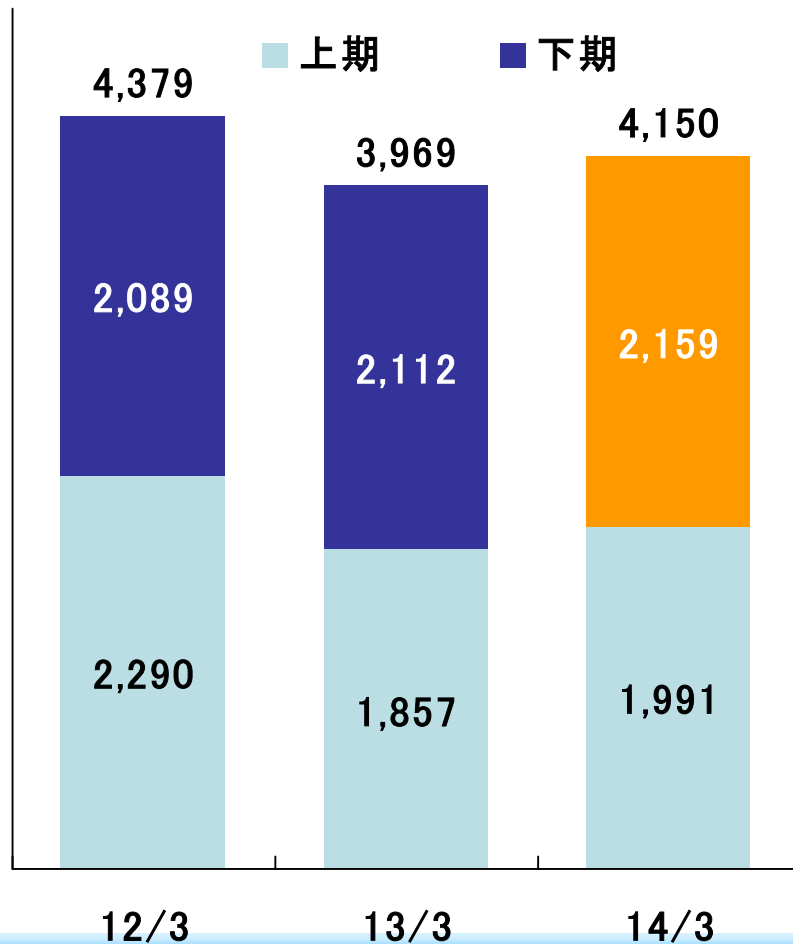
主な施策

- ◆ グループ内の連携強化により、アパレル小売店向けRFID在庫管理システムの販売強化
- ◆ RFIDを活用した図書館管理システムと資産管理システムの継続強化
- ◆ 付加価値の高い特殊RFIDタグの開発・販売
- ◆ 犯罪防止を目的とした顔認証システムの本格販売
- ◆ GMS等のストアマネジメントシステム関連商品（IQレーン等）の本格展開

# 電子プロダクトの販売計画

## 収益基盤の再構築により成長トレンドへ転換

売上高（百万円）



主な施策

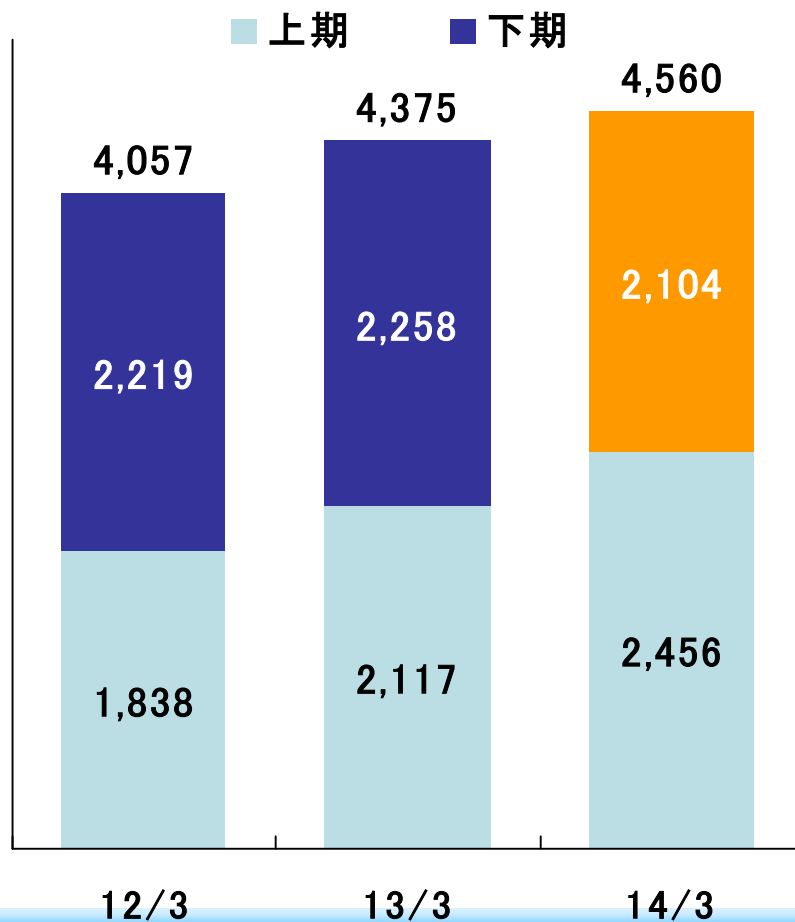
- ◆新たに獲得したプロダクト(アナログデバイス社)を軸に産業機器市場(II)のアナログビジネスの再構築
- ◆民生機器市場(DA1・DA2)はMEMSセンサと通信系デバイス等の強化
- ◆日系企業の現地開発拠点への営業サポート体制の強化(グローバルビジネスの推進)
- ◆社会インフラ市場(太陽光発電、EV充電器等)の攻略



# 産機プロダクトの販売計画

## 施策を着実に実行し堅調に増収

売上高（百万円）



主な施策

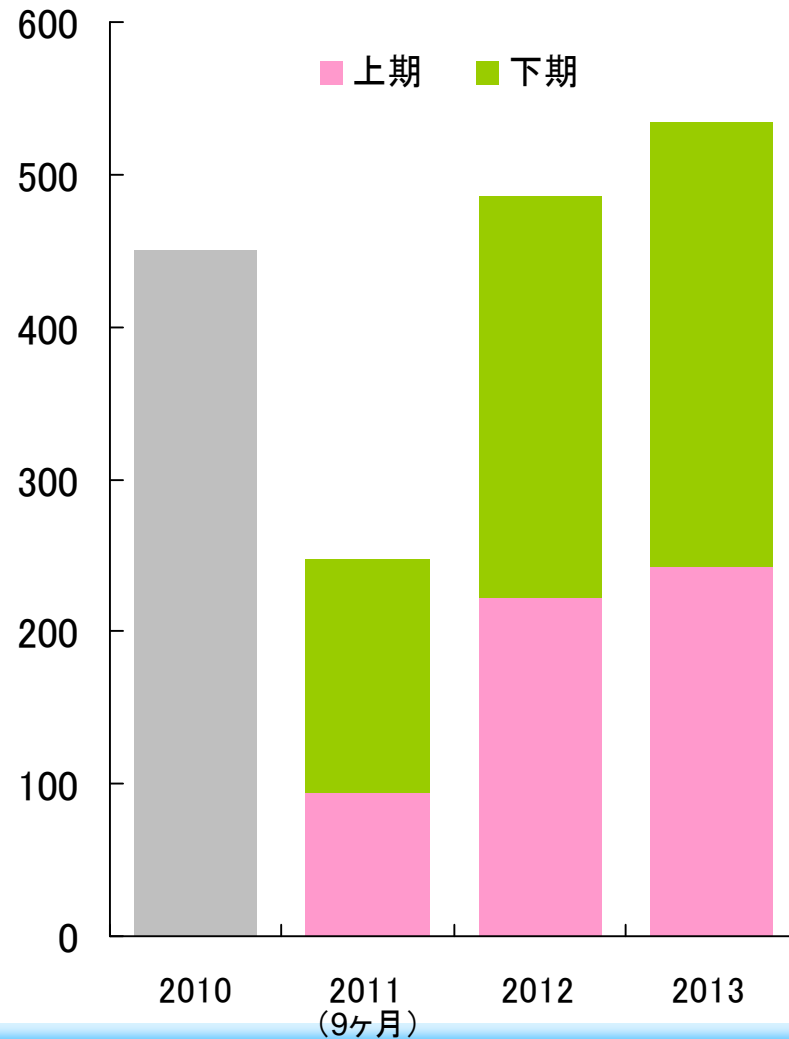
- ◆ 自動機(ATM)の国内メーカーの深耕と海外メーカーの攻略
- ◆ 引き続き遊技市場を確実に取り込みシェア拡大
- ◆ OFで新商品(海外サプライヤ)の投入で競合リプレイス
- ◆ 新商品開発  
(ダイヤル錠、玄関ベンチユニット、ドア用ダンパ等)
- ◆ 新市場開拓  
(鉄道、車両、航空機等)

# トピックス

独自の付加価値の創造と  
グローバルビジネスの本格展開の状況

## トピックス① 買収2社の状況 ～TKタイ～

売上額(百万THB)



- ◆ 2011年5月に買収
- ◆ Fire(防火設備)、オフィス向け入退室管理、小売店向け商品監視システムが主要プロダクト
- ◆ 昨年度は洪水からの復興需要もあり大幅増加
- ◆ Fireプロダクトは従来からの強みである米国系企業に加え、日系企業との取引も増加中
- ◆ 商品監視システムプロダクトは日系の小売店の店舗展開に合わせて拡販

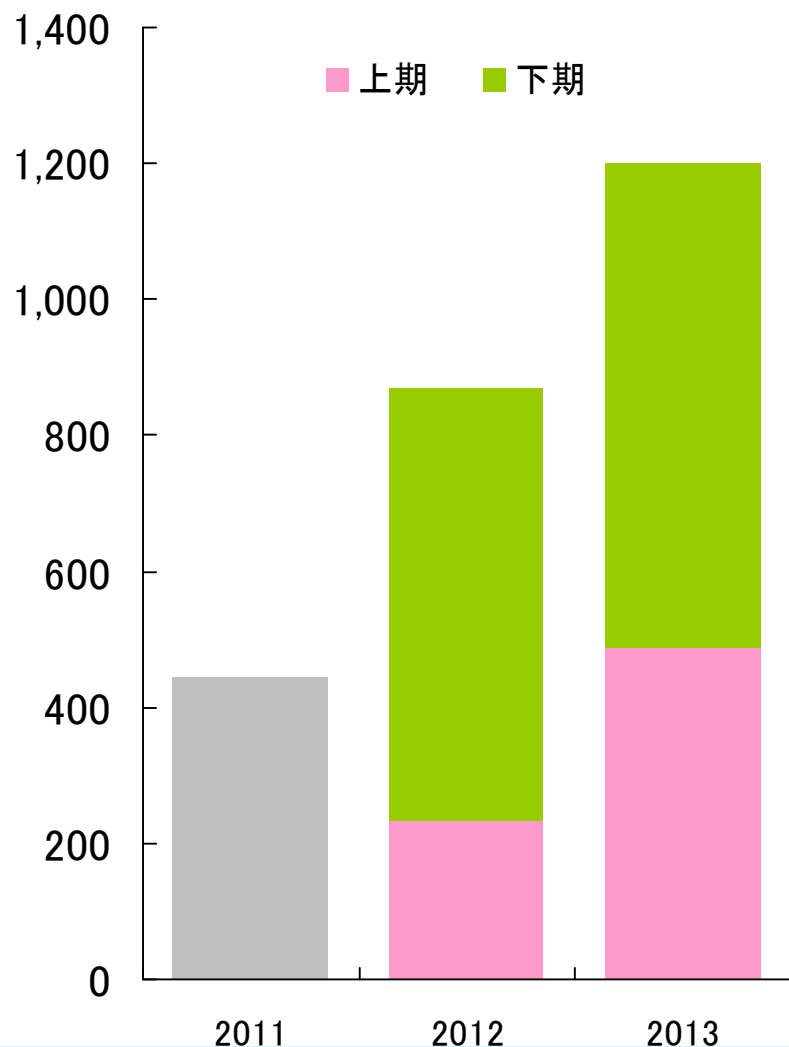
※参考

2012年間平均 1THB=2.57円

三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)ホームページより

## トピックス② 買収2社の状況 ～マイティカード～

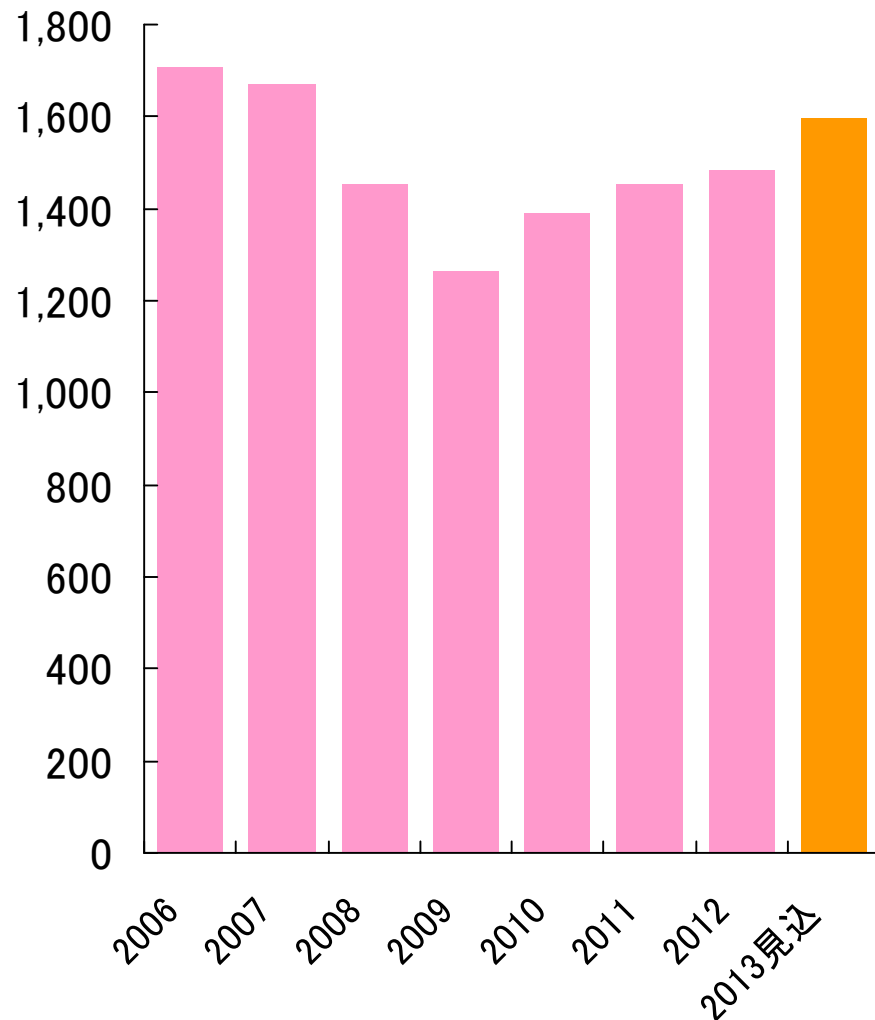
売上高（百万円）



- ◆ 2012年3月に買収
- ◆ 周波数切替による機器更新の需要もあり販売増加
- ◆ 物流資材管理用RFIDタグの販売が好調
- ◆ アパレル業界では、新たな取組として棚卸やレジの効率化のためにRFIDの採用拡大中
- ◆ 様々な分野での新規アプリケーションも開拓中

## トピックス③ 産機プロダクト 自動機(ATM)の推移

売上高 (百万円)



- ◆ 順調に拡大を続ける産機プロダクトの中の主軸市場
- ◆ 世界のATM設置台数  
2013年200万台超→2015年300万台(\*)
- ◆ 複合提案が成功し、リーマンショック後の落ち込みから回復
- ◆ 国内メーカーの海外生産拡大に伴い中国での需要も拡大
- ◆ グローバル化を図り国内メーカーだけでなく海外メーカーへの売上も増加

(\*)アセットアライブ株式会社HPより

# 中期事業方針

## 基本方針

独自の付加価値創出とグローバルビジネスの拡大

① 既存事業の収益拡大

② 新規ビジネスの創出

③ グローバルビジネスの拡大

ありがとうございました。



当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値や施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。